

**公益財団法人さんりく基金**  
**令和6年度第1回理事会 議事録**

1 開催の日時及び場所

- (1) 日時 令和6年5月24日(金) 午後1時30分から午後2時10分
- (2) 場所 岩手県盛岡市内丸17番45号 北ホテル会議室 秋桜

2 役員の現在数 理事9名 監事2名

3 出席者

(1) 理事

代表理事	佐々木 淳	業務執行理事	松本 淳
業務執行理事	中野 文男	理 事	青山 潤
理 事	石川 義晃	理 事	菅野 信弘
理 事	飛知和 比呂志		

(2) 監事

監 事	及川 崇	監 事	佐藤 修
-----	------	-----	------

(3) 事務局

事務局 長	松本 淳	事務局 次長	森 英介
三陸DMOセンター長	中野 文男	DMO事業部長	高橋 利明
総務管理部長	佐藤 光勇	DMO事業部副部長	立柳 敦
DMO事業部副部長	日向 満	総務管理部副部長	戸塚 教仁
事務局 員	田村 優子	事務局 員	川村 泉

4 欠席者

理事	後藤 均	理事	宗形 金吉
----	------	----	-------

5 議 長

代表理事 佐々木 淳

6 決議事項

- 第1号議案 公益財団法人さんりく基金財務規程の一部改正について
- 第2号議案 令和5年度事業報告及び附属明細書の承認について
- 第3号議案 令和5年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について
- 第4号議案 令和6年度第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について

7 議事の経過

午後1時30分開会した。

松本業務執行理事が、理事現在数9名中出席7名により定款第37条に定める定足数を

満たしており、本理事会は成立した旨を告げた。また、理事会運営規則第13条の規定により、監事に理事会に出席頂き、意見を頂くこととなっているとの説明があった。その後、佐々木代表理事から挨拶があった。

続いて、定款第39条第2項により、議事録署名人は佐々木代表理事、及川監事、佐藤監事であることを確認し、以降の進行は、定款第36条の規定により、佐々木代表理事が行うこととなった。

#### 報告事項1「職務執行の状況について」

代表理事及び業務執行理事が職務執行状況を報告した。

議長が、内容について質問、意見を求めた。

#### 【青山理事】

調査研究事業の審査委員を務めている。冒頭代表理事から今後さんりく基金はもっとアグレッシブな事業をとという話があったが、調査研究事業でいうと、重点分野が設定されており力を入れるようにとの指示が出ているが、それに対する力の入れ具合に統一感がない。助成事業に対する基金全体のコントロールというか、どういうシステムで決まっているのか。現状は審査委員に任せられているような感がある。我々審査委員自身もどう扱っていいのか、重点となれば絶対通さなければならないのか、現場でそういった声も出ている。その辺の考えは。

#### 【松本業務執行理事】

過年度からの実績等を含めて、重点事項を決定している。審査委員等のご意見をいただきながら、毎年度重点方針を定めている。どれを重点にするかは中で議論をしていくが、ご意見をいただきながら重点方針の定め方についても検討していく。

#### 【佐々木代表理事】

助成事業についてもまだまだアグレッシブにやる分野であるということですね。

その他発言はなく、議案の審議に入った。

#### 第1号議案「公益財団法人さんりく基金財務規程の一部改正について」

議長は、第1号議案について事務局に説明を求め、佐藤総務管理部長が説明した。

議長が、第1号議案について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第1号議案の賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

#### 第2号議案「令和5年度事業報告及び附属明細書の承認について」

第3号議案「令和5年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について」

議長は第2号議案と第3号議案について関連があるとし、事務局に一括して説明を求め、森事務局次長が説明した。引き続き、監査報告について及川監事が報告した。

議長が、第2号議案、第3号議案について一括して質問、意見を求めた。

#### 【青山理事】

三陸観光プランナー養成塾生について、受講後のキャリアパスの想定は。

#### 【中野業務執行理事】

現在養成者 100 名であるが、内訳は、実際に個人や会社等でコンテンツ販売している方が十数名、次が、市町村の観光協会に勤務され、旅行商品企画等の役割を担っている方、続いて地域おこし協力隊として活動している方がいる。その方々は3年間の任期を経て、販売にかかわる方もいたり、残念ながら地域を離れたりする方もある。色々な段階の方がおり、スキルアップを支援するとともに、地域で活動するうえでの色々な悩みを抱えている方もいるため、一堂にプランナーが会して意見交換しながらネットワーク化を図る取組をし、フォローをしていく。

議長が、他に質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第2号議案及び第3号議案の賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

第4号議案「令和6年度第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について」

議長は、第4号議案について事務局に説明を求め、佐藤総務管理部長が説明した。

議長が、第4号議案について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第4号議案の賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

①開催日時 令和6年6月11日（火）午前10時半から

②開催場所 岩手教育会館カンファレンスルーム及びWeb会議システム

③議事に付すべき事項

- ・令和5年度事業報告及び附属明細書の承認
- ・令和5年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認
- ・理事の選任について

その他

「県出資等法人運営評価シートについて」

議長はその他事項について説明を求め、佐藤総務管理部長が説明した。

議長が、質問、意見を求めた。

【佐々木代表理事】

目標下回っていることについては、危機感を持っているのか、今年度は十分クリアできるという自信をもって事業を進めているのかどんな感じか。

【佐藤総務管理部長】

事業目標1の情報発信に関しては、先ほど説明申し上げた通り、集計方法が変わってしまったこともあり、今年度も目標達成は厳しい状況と認識している。その他に関しては、昨年度はわずかに目標を下回り、目標達成できなかったもの。特に、助成事業については、事務局としてもあらゆる手段を通じて事業のPRを行っているつもりではあるが、さらなるPR等を通じて、新規申請者の発掘を強化していく必要があると考えており、引き続きPRに努めていく。

議長が他に質問、意見を求めたが、特に発言はなくその他を終了した。

最後に、三陸鉄道開業40周年について、石川理事よりお話をいただいた。

【石川理事】

おかげさまで三陸鉄道は今年4月1日に開業40周年を迎えた。通勤通学やお買い物で利用いただいている方、観光客、全国のファン、応援してくださる皆様に感謝している。4月13日に記念式典を開催し、今まで三陸鉄道に貢献していただいた方への表彰や鉄道写真家中井精也様に講演いただいた。中井様は、40年前の開業当日も写真を撮っていただいたり、震災時も復興ボランティアで入り、写真を撮っていただいた方で、色々な話をしていただいてよかった。

今年は40周年記念事業を様々展開しており、まず乗ってもらうことが大事と考えている。9、10、11月には、盛駅、宮古駅、久慈駅で鉄道まつりを開催。この日は1日三陸鉄道乗り放題の切符を400円で発売する。4月13日にも発売したところ、800枚以上売れた。三陸鉄道に乗って鉄道の良さを感じていただきたい。

また、インバウンドについて話すと、4月29日ロイヤルプリンセス号が宮古港に寄港、観光客だけで約3,000人。用意した企画旅行の他に、定期列車にも外国人300人以上に乗車いただいた。宮古駅の窓口で外国人旅行客が列をなしたというのも、これまであまりない状況だった。今までは外国人観光客は、東京・羽田から盛岡経由で来られる方が多かったが、年に数回ではあるが、こういった形でおいでになるということで、そういった対応も考えていかなければならない。

みちのく潮風トレイルも全線開通5周年を迎えるということで、宮古で記念式典を開催予定。外国人バックパッカーも増えている。昨年、台北・花巻空港間の定期便が復活した関係で、昨年だけで台湾からのお客様2,300人が三陸鉄道を利用、今年も現時点で400人以上の方にご利用いただいている。観光面でいうとそういったところも力を入れていきたい。

**【佐々木代表理事】**

さんりく基金そのものの目的は三陸振興である。色々な情報を共有しながら、皆様も足を運んでいただければ。今年の秋には、北三県の J R と連携した秋季キャンペーンを予定している。

以上をもって議事の全部の審議及び報告等を終了したので、議長は午後 2 時 10 分閉会を宣し、解散した。